

平成29年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	アミノ基キャリアタンパク質を介する生合成機構の解明と二次代謝産物構造多様性の拡張
研究代表者	西山 真 (東京大学・生物生産工学研究センター・教授) ※平成29年6月末現在
研究期間	平成29年度～平成33年度
コメント	<p>応募者は、これまでに世界に先駆けて発見したアミノ基キャリアタンパク質AmCPが、アーキアの一次代謝だけでなく、放線菌やさらには一般的な細菌の二次代謝化合物生合成に関わることを見いだしてきた。本研究は、一次代謝ではメタボロンのキータンパク質としての機能、二次代謝ではAmCPが関与する新規化合物の生合成経路の解明を目指しているものである。応募者の発見に基づく独創的な研究であり、学術的に目覚ましい展開が期待され、将来的にはユニークな有用物質の生産にも繋がる可能性がある。</p> <p>以上の理由により、本研究は基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>